



教育委員会表彰

令和4年度「少年少女ノーベル賞」「教育委員会表彰」受賞者をお知らせします。

少年少女ノーベル賞 ※50音順

- ▼加藤 碧(榛原中学校3年) 第17回全日本小学生中学生アーチェリー選手権大会 リカーブ部門
中学生女子 第8位
- ▼川村 颯太(藤枝明誠高等学校1年) 第77回国民体育大会 馬術競技
少年 リレー競技 第1位
少年 スピードアンドハンディネス競技 第3位
少年 団体障害飛越競技 第5位
- ▼志田 茉央(川崎小学校6年) 第17回全日本小学生中学生アーチェリー選手権大会 リカーブ部門
小学生女子 18m 第8位

教育委員会表彰 ※50音順

- ▼飯田 ひかり(川崎小学校6年) 第39回山崎賞 児童・生徒の部
- ▼石川 舜(清水東高等学校2年) 第39回山崎賞 児童・生徒の部
- ▼岩倉 由奈(牧之原小学校1年) 第72回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- ▼大石 元喜(榛原高等学校2年) 第39回山崎賞 児童・生徒の部
- ▼大石 心菜(相良中学校3年) 第72回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- ▼加藤 遥慎(地頭方小学校1年) 第72回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- ▼紅林 洸利(牧之原中学校3年) 第23回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール
優秀賞「第三管区海上保安本部長賞」
- ▼小塚 蒼生(相良小学校5年) 第72回静岡県席書コンクール 最優秀賞
静岡県書き初めコンクール 最優秀賞
- ▼清水 瑛斗(地頭方小学校2年) 第72回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- ▼鈴木 葉南(長岡造形大学3年) 「新潟県工芸品」ロゴマーク募集 最優秀賞
- ▼高柳 貴心(牧之原小学校3年) 第72回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- ▼本間 怜(相良小学校2年) 静岡県書き初めコンクール 最優秀賞
- ▼増田 心暖(榛原高等学校2年) 第39回山崎賞 児童・生徒の部
- ▼松下 拓斗(川崎小学校2年) 第72回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- ▼松本 衛(川崎小学校5年) 第39回全国少年少女レスリング選手権大会 小学生の部 5年生
+65kg級 準優勝
- ▼本杉 心花(川崎小学校4年) 令和4年度 第68回静岡県読書感想文コンクール 課題図書の部 特選
- ▼森木 日日生(川崎小学校6年) 第51回人権啓発ポスターコンテスト 最優秀賞
- ▼矢部 佑奈(相良小学校5年) 第72回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- ▼山本 一颯(榛原高等学校2年) 第39回山崎賞 児童・生徒の部
- ▼牧之原榛原(榛原中学校3年) 第75回静岡県中学校総合体育大会男子共通 4×100mR 優勝



少年少女ノーベル賞：全国レベルで優秀な成績を収めた、20歳未満の方・団体(全国8位以内)

教育委員会表彰：県大会等で優秀な成績を収めた方・団体(県1位相当)

※同じ競技や部門などで過去に表彰を受けている場合は対象となりません。ただし、過去に教育委員会表彰を受賞している場合でも、ノーベル賞を受賞することは可能です。



山崎こども教育賞



令和4年度の「山崎こども教育賞」受賞者をお知らせします。

森下 愛琉 (相良小)	大石 心春 (川崎小)	増田 彩里 (相良中)
川嶋 琉生 (相良小)	岸本 未夢 (細江小)	小塩 優衣 (榛原中)
増田 健人 (相良小)	山村 琉季 (細江小)	今村 帆七 (榛原中)
小沢 向日葵 (菅山小)	浅野 志旺 (勝間田小)	福留 美佑 (榛原中)
名波 樹希 (萩間小)	良知 杏音 (坂部小)	桑田 賢亮 (榛原中)
樋口 璃胡 (地頭方小)	高須 遥菜 (相良中)	杉本 華乃 (榛原中)
増田 陽菜 (牧之原小)	木村 優奈 (相良中)	瀧井 俊巴 (榛原中)
福島 優吏 (川崎小)	秋野 來人 (相良中)	仲田 愛未 (牧之原中)
大石 安那 (川崎小)		

対象

小学6年生・中学3年生思いやりある行動、日ごろの努力が顕著であり、他の模範となった児童生徒。

「山崎こども教育振興財団」とは

故 山崎貞一さんが寄付して下さった3億円をもとに、牧之原市内各小・中学校のこどもたちに理科・科学の学習支援等を行っている財団です。

<教育総務課 TEL : 0548-53-2642>

牧之原市のキャリア教育が 文部科学大臣から表彰されました

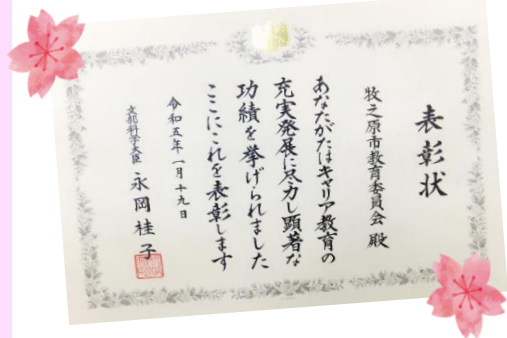


牧之原市教育委員会がキャリア教育の充実発展に貢献した教育委員会や学校、PTA団体等として、令和4年度文部科学大臣表彰「教育委員会の部」で表彰されました。

牧之原市のキャリア教育は、「起郷家教育」を掲げ、「郷に学び、将来を見通し、自ら行動を起こす人材の育成」を目指し、地域一丸となって学習しています。

さらに、静岡大学教職大学院と連携し、義務教育9年間で、3つのテーマ「地域の再発見」「命と防災」「仕事と価値創造」の教育理念に沿ったプログラムを進めています。これらのプログラムを通して、将来役に立つ体験的学びを大事にしながら、社会で求められる基礎的な力を養います。

<学校教育課 TEL : 0548-53-2645>



<多目的体育館建設通信> Vol.1



令和4年12月8日より基礎の掘削工事などの本工事に着手しました。
令和5年1月からは、建物の基礎躯体工事を進めています。
進捗状況については今後も教育委員会だよりや専用HPにてお知らせしていきます。



11月全景



12月全景



柱状改良施工中



基礎施工中



基礎施工中



基礎施工中



<多目的体育館専用HP>

<https://makinohara-sports.info>



QRコードを読み込むとHPへアクセスできます。

<スポーツ推進課 TEL : 0548-53-2643>

ふるさと教室に参加してみませんか？

小学校低学年（1～3年）と高学年（4～6年）のそれぞれのコースで、さまざまな体験をします。違う学校のお友達と楽しい思い出をたくさん作りましょう！詳細は小学校に配付されるチラシをご覧ください。



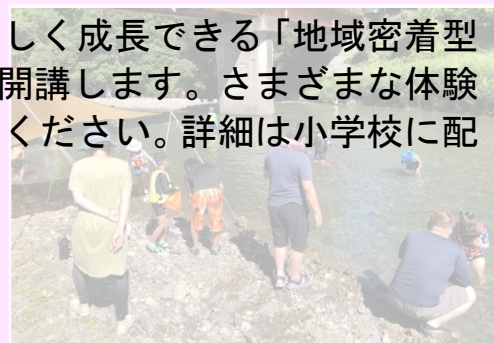
令和5年度子どもまきのはら塾が始まります

市内の小学生を対象に、新しい体験をしながらたくましく成長できる「地域密着型体験教室」として、本年度も「子どもまきのはら塾」を開講します。さまざまな体験ができる講座を数多く用意していますので、ぜひご参加ください。詳細は小学校に配付されるチラシや市ホームページをご覧ください。

申込方法…申込フォーム

申込期間…4月6日(木)～4月24日(月)

※申込はこちらのQRコードをご参照ください。



<社会教育課 TEL : 0548-53-2646>

新しい学校づくり通信 Vol.1

義務教育学校ってどんな学校？

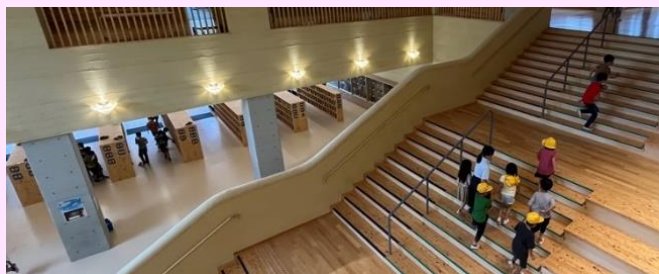
牧之原市では、義務教育9年間でより効果的・効率的に「次代を切り拓く力」を身につけるために、施設一体型義務教育学校の開校を目指しています。

このコーナーでは施設一体型義務教育学校のよさについて、先進地の事例等を交えながらシリーズで紹介していきます。

義務教育学校とは？



小学校と中学校が1つになった学校です。小学1～6年生、中学1～3年生というくりではなく、1年生から9年生として、児童生徒の発達段階に合わせた学びが実現できる学校です。



施設一体型義務教育学校にはどんな良さがあるの？



- ①児童生徒の人数が“横”（＝クラス替えができる規模にする）だけでなく小中一貫教育で“縦”（＝1～9年生）に増えます。
- ②教職員数が9学年分になるので在籍する教職員数が増えます。
- ③「9年間を通してみんなで育てる」ことがより意識しやすくなります。

今回は、クラス替えができる規模にするだけでなく、同じ空間で1～9年生と一緒に生活できる施設一体型義務教育学校のメリットを紹介します。

より詳しく知りたい方&続きが気になる方はこちらの動画をご覧ください。

→ <https://www.city.makinohara.shizuoka.jp/site/kyouiku/49065.html>

※または右のQRコードから閲覧できます。



<学校再編推進室 TEL : 0548-53-2640>

一編集後記一

編集委員長に就任し、第1号の教育委員会だよりの発行となりました。牧之原市民のみなさんに「教育委員会だよりの発行」とは、どんなこととお知らせしたらいいのだろうか？もっと良い発信方法はあるだろうか？と考えながら、慣れない文章を書いています。これからもっと良い教育委員会だよりの発行を目指して試行錯誤していきたくて考えてます。良いアイデアなどがあれば、ぜひご連絡ください。

<編集委員長 池ヶ谷 祐太>

〇ご意見・ご感想などお待ちしております。

発行：牧之原市教育委員会、牧之原市菊川市学校組合教育委員会

電話：0548-53-2642

FAX：0548-53-2657

メール：kyoiku@city.makinohara.lg.jp